

○1番（森山一政議員） 改めまして、おはようございます。1番森山一政でございます。議長より発言のお許しをいただきましたので、通告の順に従いまして一般質問をさせていただきます。

広島県の出身者で初めての岸田総理が誕生いたしました。第100代と切りがよく、覚えやすい代でもあります。誠実で温厚な人柄、特技は人の話をしっかり聞くことだそうです。経済政策は成長と分配、規制緩和、構造改革の修正案をつくり、分配を重視して格差を埋めようとする考えのようです。同じ派閥の故池田勇人氏と同じような考えなのか、所得倍増に着目をしておりますことから、今後の日本経済の発展に大いに期待しているところでもあります。

広島といえば思い出すのは、広島カープとお好み焼き、世界の中で原爆が落とされた場所というイメージがあります。広島平和記念資料館においては、原爆を落とされたことの痛ましさ、とりわけ町の焼け跡や皮膚が垂れ下がったりした被爆者の悲惨な姿の写真や絵、ぼろぼろになった衣服などの遺品を展示して、核兵器の恐ろしさと非人道性を生々しく伝えております。

我が国は、原爆が落とされた世界でただ一つの国でもあります。戦後の被爆者たちの多くの努力が実り、核兵器禁止条約が国連で2017年に採決されましたことは、非常に有意義なことだと感じております。オバマ元アメリカ大統領が日本を訪問した際に広島の平和公園の慰霊碑を案内されたのも、外務大臣をしていた今の岸田総理でもありました。核軍縮と安全保障は密接な関係にあり、これからどのように対応して進めていくのか興味があるところでもあります。核兵器の恐怖のない国際社会の実現をただただ祈るばかりです。

常陸太田市には、水戸八景が2か所あります。その1つが山寺の晩鐘であり、昔は米どころでもありましたが、今は埋立てをして住宅街になっており、現在は大きくさま変わりをしております。山寺の晩鐘から西を向いてみますと、徳川光圀公様が隠居をされた西山荘があり、その高台には市の斎場があり、人生の樂園に向かい、仏様、神様にお会いするところでもあります。

その西にはこめ工房があり、地域で取れた特別栽培米「みずほちゃん」、新鮮な野菜・果物の販売、常陸秋そばを……。

○川又照雄議長 森山議員、ちょっとまとめて質問をお願いしたいと思います。

○1番（森山一政議員） 人気のレストランなど、市の特産品のPRも兼ねて運営しております。

住宅街と山寺の晩鐘がある間の山吹運動公園内に、これまでの常陸太田市の体育館が老朽化したため、市においては建て替える計画を進めております。アリーナと呼ばれるような6,800平方メートルに及ぶ立派な建物で、プロのチームも試合を行えるようなすばらしい体育館をつくる計画をしてあります。予算は約50億円になると伺っております。このようなすばらしい施設ができますと、スポーツの発展にも大いに寄与されるものと思っております。

スポーツ基本計画では、スポーツをする、スポーツを見る、スポーツを支えることを目標として、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進と環境整備を行うとあります。

一方で、体育館を建設するのに、いろいろな問題点も山積しているように感じております。私には改善をしなければならない点がいろいろとあるように見受けられます。プロの試合の開催をするのには交通の便が重要ですし、渋滞緩和対策も必要だと思っております。駐車場も広くしなければ何千人もの人の車両の駐車をすることもできません。道路の脇には源氏川が流れており、

何度か水害災害に遭っており、この地域は浸水が想定される区域内にもなっております。よく考えなければならない場所でもあるように感じております。

当初の計画では、山あい土地を賃貸して、広い駐車場をつくる計画をしていたようですが、様々な課題や困難を伴うことから、土地の賃貸は見送ることに至ったようです。令和2年より計画を進められているようですが、初めから見ますと、土地を狭く使うようになるので、体育館の建てる場所も変わってくるものと思われます。また、建てる場所によっては、現在の体育館を取壊して建て替えるまで、何年も体育館の使用もできなくなることも考えられます。

新総合体育館の外観図を見せていただきました。そこで第1の質問として、防災機能等を備えた施設を建設するようですが、地震への対応に比べて、水害対策はなぜかおろそかになっているように感じております。市として、浸水が想定される区域内に新総合体育館を建設するに当たっての対策を、どのような方法で水害対策及び地震対策の考え方について伺います。

第2の質問として、交通の便を考えますと道路が狭く渋滞になることが懸念されます。緩和をするにはどのような改善方法等を考えているのか、伺います。

第3の質問として、駐車場の件ですが、トップレベルの大会やイベント等を開催する計画をしているようですが、何千人もの人々が集まります。駐車場等の計画はどのように進めていくのか、伺います。

第4の質問として、建設費の財源の内訳はどのようになっているのか、その上で完成された後の運営、維持費の負担はどのくらいになるのか、どのように進めていくのかについて伺います。

第5の質問として、トップレベルの大会や大きなイベント等の計画もあるようですが、市外からも多くの来訪者を呼ぶわけですから、常陸太田市に来てくださる方に常陸太田を楽しんでいただけるよう、魅力発信を大いにすべきだと思います。どのように考えているのか伺います。

次に、幸久小学校、西小沢小学校、佐竹小学校が来期より統合をして峰山小学校になります。地元住民としては寂しい限りでもあり、1つのシンボルがなくなる感じがしております。学校が廃校になると、施設を利用することが困難になるのではないかと心配しており、地区の方々は市に対して、幸久小学校が今までのように体育館やグラウンド等が利用できるよう要望書を提出しております。

この地域はスポーツ少年団、バレーボール、子ども育成会、体育支部、敬老会、自主防災会、公民館等、毎日のように利用されております。さらには、ドクターヘリの発着地で、地域の人命への貢献も多大なものがあります。今まで同様に地域の文化的、精神的なシンボルとして維持的に継続されるように強く願っております。

また、体育館など、雨漏りや外観から見ても屋根の塗装が剥がれており、傷んでいるところもあり、修繕等も必要と考えられます。今の時点で修繕をすれば、あまり経費もかけずにできるように感じております。

地域にある施設を大事に使っていくのも、経費の圧迫を避ける1つの方法かもしれません。

この地域は浸水が想定される区域内になっておりますが、水利も豊富で農業も盛んに行っているところでもあります。

跡地利用として、運動場などに土などを入れて高くして、車両や農機具、トラクターなどの避難場所をつくるという発想もあるのかなと思っております。そうすることによって、災害に遭ったとしても、経済的に復旧復興がスムーズにできるようにつながるものと考えております。

そこで、第1の質問として、地域の活性化の拠点として、閉校後の跡地利用の決定までの進め方について伺います。

次に、第2の質問として、跡地利用が決定するまでの間、校庭や体育館といった施設の利用と維持管理がどのように行われるのか、伺います。

今回の質問は、市の体育館と幸久小学校を含めた体育館の今後の活用について伺いました。前向きな答弁をよろしくお願いいたします。

これで1回目の質問を終わります。

○川又照雄議長 答弁を求めます。教育部長。

〔武藤範幸教育部長 登壇〕

○武藤範幸教育部長 新総合体育館についての中教育委員会に関する4点のご質問にお答えいたします。

まず、1点目の浸水が想定される区域内に新総合体育館を建設するに当たっての水害対策及び地震対策の考え方についてでございますが、まず、新総合体育館を山吹運動公園に整備することにつきましては、山吹運動公園は体育館、野球場、少年野球場、テニスコート、運動広場、弓道場などが整備され、長きにわたり市民に親しまれた本市のスポーツ施設の拠点であり、今後とも本市における市民のスポーツ活動の拠点であります。その象徴となる新総合体育館を山吹運動公園に整備するものでございます。

ご質問の水害対策、地震対策につきましては、今後の基本設計の中で必要な対策を講じてまいります。なお、地震対策につきましては、新耐震基準を満たした施設とし、安全性を確保してまいります。

次に、2点目の交通の便として渋滞緩和をどのように進めていくのかについてでございますが、トップレベルの大会等におきましては、アクセス道路の渋滞も予想されることから、周辺地域の土地や道路体系なども考慮しつつ、渋滞緩和に向けました周辺道路の整備等につきまして、建設部や関係機関と調整検討をしてまいります。

次に、3点目のトップレベルの大会や大きなイベント開催時の駐車場などの計画をどのように進めていくのかについてでございますが、基本計画ではトップレベルの大会等におきましてはメインアリーナの観覧席の最大数を固定席、可動席等を合わせまして2,000席としており、そのうちの90%に当たります1,800人が自家用車で来館し、1台の乗用車に3名が乗車すると想定し、600台の普通乗用車の駐車場を確保するため、新総合体育館周辺に新たに普通乗用車の駐車場を500台程度確保し、野球場側の既存の駐車場200台と合わせ対応することで計画をしているところでございまして、大型バス用の駐車場、身体障がい者用の駐車場の必要台数の

確保も併せ、詳細につきましては基本設計の中で対応し、整備をまいります。

また、大きなイベントなどの際には、駐車場もイベント会場として利用することもあることから、その場合はこれまでと同様に近隣の公共施設等を臨時駐車場として利用することや、市役所などの駐車場からのシャトルバスの運行なども手段の1つになるものと考えてございます。

次に、4点目の建設費の財源確保内訳、また、完成された後の運営維持費の負担がどれくらいになるのかについてでございますが、整備財源につきましては、まず全事業費の45%分として、国土交通省の都市構造再編集集中支援事業の活用、地方創生拠点整備交付金として5億円、残りの事業費の95%、全事業費に対しましては約40%弱となりますが、合併特例事業債を活用し、残りの5%につきましては市のまちづくり振興基金を活用することで計画をしているところでございまして、一般財源による負担の軽減に極力努めてまいりたいと考えてございます。

次に、完成後の運営維持費でございますが、まず、現在の体育館の運営維持費が職員の人件費などを除く光熱費、簡易修繕等の維持管理費や管理委託料などで年間約1,250万円でございます。

新体育館につきましては、近年新たに整備した他市の体育館の年間運営維持費を参考に、本市が想定する延べ床面積約6,800平方メートル程度で算出した場合で、人件費などを除き光熱費、施設管理委託料などで年間約2,900万円から約3,000万円程度を想定し、また施設全体の維持や運営に必要な人件費といたしまして、現在のスポーツ振興課の職員数を維持した場合、年間約1億円から1億2,000万円程度を見込む必要もあるものと考えてございます。今後、新総合体育館の管理運営方法などについて検討を進めていく中で、必要な経費についても具体的に算出をまいります。

続きまして、幸久小学校施設の活用についての2点のご質問にお答えいたします。

まず、1点目の跡地利用の決定までの進め方についてでございますが、幸久小学校につきましては、議員ご発言のとおり、来年4月に西小沢小学校と佐竹小学校と統合し、現在の佐竹小学校の場所に新たに峰山小学校を開校することに伴い、閉校となります。学校施設としての活用は廃止することになるものでございます。

閉校後の学校施設の活用につきましては、平成30年6月に策定いたしました常陸太田市廃校施設等利活用方針に示した地域との調和、地域振興、費用対効果、情報媒体の活用、実現可能な利活用の推進という5つの方針の下、常陸太田市廃校等利活用推進フローチャートに基づきまして、跡地利用を検討していくこととしてございます。

第一義的には、市の施設として転用の検討を行い、それが困難である場合には地域あるいは民間事業者等への保有移行や譲渡を検討していくこととなります。その際には、保有移行や譲渡を受けた者が、施設を維持管理する経費を負担することが大前提となってまいります。

今後、まずは地域の代表者などから地域住民によります利活用についての意向調査を行った上で、そこから出されました地域の意見、要望等に配慮した上で、市及び地域などの利活用及び譲渡企業などの公募の区分なども含めまして、全庁的に利活用方策の具体的な検討を行うこととしてございます。

次に、跡地利用が決定するまでの間、校庭や体育館といった施設の利用と学校施設の維持管理がどのように行われるのかについてでございますが、ただいま答弁をさせていただきました過程を経まして利活用方策が決定していくこととなりますが、新たな利活用方策が決定するまでは学校施設開放による地域のスポーツ活動や地域コミュニティでの利活用、また、災害時の避難所など、これまでどおりの利用ができるようにしてまいります。

維持管理につきましては、利用者のご協力をいただきながら、適切な管理に努めていくことといたします。

○川又照雄議長 商工観光部長。

〔中野亘商工観光部長 登壇〕

○中野亘商工観光部長 新総合体育館についてのご質問のうち、5番のトップレベルの大会や大きなイベント等を開催する中で、市外からの来訪者の方々への本市の魅力発信をどのように考えているのかのご質問についてお答えいたします。

新総合体育館の整備により、トップレベルの大会や大きなイベントの開催時には、市内外から多くの方々が本市を訪れることが想定されます。このような大会やイベント開催時には、本市の魅力を多くの方々に知っていただく絶好の機会と捉え、本市の玄関口であります道の駅ひたちおた観光案内所及び常陸太田駅観光案内センターでの観光PRを行う他、新総合体育館へ観光PRブースを設け、選手、大会関係者及び来場者など様々な利用者に向けて、観光PRや特産品の販売を行ってまいりたいと考えております。また、大会やイベントの休憩時間等を利用し、観光拠点である西山御殿や竜神大吊橋、地域資源等を生かしたアクティビティ体験やキャンプ、ハイキング、サイクリングなど、本市ならではのアウトドアの魅力を大型ビジョンを使って映像で紹介するなど、リピーターの確保及び市内周遊を促し、観光消費の拡大につながるよう様々な取組を関係機関等と連携して図ってまいりたいと考えております。

さらに、本市へ訪れるの方々への事前の情報提供として、大会イベントに向けて観光レンタカー助成やプレミアム付き旅行券の発行事業、団体旅行誘致促進助成事業のPRについて、市及び市観光物産協会ホームページ、SNS等での積極的な発信を行う他、当市広報広聴課と連携した戦略的な広報PRに取り組むことで誘客拡大につなげていきたいと考えております。

○川又照雄議長 政策推進室理事。

〔加瀬智明政策推進室理事 登壇〕

○加瀬智明政策推進室理事 (1) 幸久小学校施設の活用についてのご質問の中の学校跡地利用の決定までの進め方について、関連のご答弁を申し上げます。

常陸太田市廃校施設等利活用方針にございます譲渡企業等の公募による学校跡地利用の市の考え方について、改めてご答弁を申し上げます。

譲渡企業等の公募による利活用方策の検討でございますが、閉校後の学校施設の活用につきましては、現在、市工業団地での企業誘致面積が少ない状況において、閉校後の学校施設につきましては、市が若者の定住や人口減少対策、また、移住施策を進めるに当たり、企業誘致の場として重要なファクターであると考えております。

常陸太田市廃校施設等利活用方針に基づきまして全庁的な検討を行うことになりますが、今後につきましては、これらのことも踏まえまして商工観光部と連携を図りながら、企業誘致等の公募も視野に入れ検討をしてみたいと考えております。

○川又照雄議長 森山議員。

〔1 番 森山一政議員 質問者席へ〕

○1 番（森山一政議員） 答弁ありがとうございました。

山吹運動公園は、長きに渡り運動広場として市民に親しまれてきた場所でもあります。何十年も使われている運動場ですので、よいところも改善しなければならない点も見えてくるのかなと思っております。

1 に対してですが、地震対策としては、耐震基準を満たした施設と、安全性の確保ということで理解をしております。

何年か前ですが、源氏川の国体道路が冠水したことがありました。基本計画の説明では、水害の避難場所にはならないと伺っておりましたが、今後の基本設計の中で水害対策、地震対策について必要な対策を講じていくということで理解をいたしました。考え方、また、いろいろとあると思います。要望として体育館に入る道路や野球場の入り口など、低い箇所などを高くするだけで、幾らかの改善ができるのかなとも思っております。避難場所としても活用するのですから、水害対策、地震対策に対して、よろしくお願いいたします。

2 の渋滞緩和についてですが、現在の道路を歩いてみますと、笠間線の幹線道路から入るのを入り口として、狭く、坂になっており、出口を太田中学校から下りた丁字路の信号としますと、出口の丁字路が曲がりづらくなっており、狭い道と曲がりづらい道路、見晴らしが悪く、危険性が伴う道路と感じております。また、その地域には学校等もあるので、この機会に渋滞緩和とふせて考えていただければと思っております。

周辺地域の土地や道路体系なども考慮して整備、関係機関と建設部等の調整、検討をしますとありますので、要望として、安全で、大型バス、乗用車等スムーズに運行ができる道路の整備をお願いいたします。

第3の質問ですが、トップレベルの大会を開催するに当たり、600台から700台の駐車場の計画をしているようですが、200台の駐車場は既存にある野球場の駐車場を使うとのことで分かりました。

500台の駐車場等はどの辺りにつくる計画をしているのか、また、駐車場を含め、今建っている体育館等も新しくつくる新総合体育館と併せ土地も限られたスペースですので取壊しも考えていると思います。体育館、駐車場をどのようになさいますか。

○川又照雄議長 森山議員に申し上げます。一問一答でお願いしたいと思います。

○1 番（森山一政議員） で、伺います。

○川又照雄議長 駐車場の件での質問でいいですか。

○1 番（森山一政議員） はい。

○川又照雄議長 答弁しますので、お待ちください。

教育部長。

○武藤範幸教育部長 駐車場をどの辺り、場所をどういうふうにしてというご質問でございますが、新たな体育館周辺の駐車場の場所につきましては、プロポーザルにより決定をいたしました業者による、あくまでもイメージ図ではございますが、その中で、現在の体育館を解体した場所、また、運動広場の一部を活用した場所、ここに必要な駐車台数を確保する駐車場を整備する配置となっております。基本的にはこの考えに基づくことになると考えてございますが、あくまでもイメージ図でありますので、詳細につきましては今後の基本設計の中で、場所も含め検討してまいりたいと考えてございます。

○川又照雄議長 森山議員。

○1番（森山一政議員） 分かりました。

今、話のありましたプロポーザルということで、こちらの意見なんかも伝えて、業者と話して進めていくということですよ。そういう形だと、その地域で使う体育館をどのようにうまく使えるか検討してもらって進めていってもらえればと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、4の新総合体育館の運営費は相当な額になるのが予想されます。今までの職員の数は、4人から6人ぐらいだったと思います。年間で1億円から1億2,000万円程度見込むとあります大きな体育館にするのですから、職員を増員する計画もしていると思います。また、なるべく経費のかからないような方法等も考えていると思います。よろしくお願いいたします。

5のトップレベルの大会やイベント等、来場者に対して市の魅力発信を観光ブースなどを使ったり、大型ビジョンなどを使って観光拠点を映像などで発信したり、観光案内センターなどと連携強化をしていくとのことですので、戦略的PRをお願いするとともに、誘客拡大につなげていくことを期待しております。よろしくお願いいたします。

次に、幸久小学校の跡地利用の件ですが、常陸太田市廃校施設等利活用方針に示した地域との調和、地域振興、費用対効果、情報媒体の活用、実現可能な利活用の推進と5つの方針を基に跡地利用を検討するとのこと、まずは地域の人々の利活用の意見を調査などをして、それから出された地域の人々の意見や要望を配慮した上で、全庁的に利活用の方策を具体的な検討を行うとあります。地域の人々の意見を聞き、跡地利用の決定がされますとのこと、これまでのように使用ができるということで、有意義に地域の人々のコミュニティの場所になるように利用させていただきま。

また、適切な維持管理も活用する方々の協力をいただきながら、今までのように……。

○川又照雄議長 森山議員にもう1回申し上げます。一問一答ですので、質問項目をきちっと上げるか、これは要望で終わりだとかという説明をしてもらえますかね。お願いします。

○1番（森山一政議員） 今までのように施設の管理をするとのことですので、よろしくお願いいたします。

市の体育館も新総合体育館をつくるに当たって、便利になると思います。この地域の体育館、グラウンド等は、市内も利用する人数が相当数おります。住民のためにいかに利用されるか、住民のためになったかを考えていただき、新総合体育館をつくって運営をしていただきたいと心

から願っております。

これで一般質問を終わります。以上です。

○川又照雄議長 教育部長。

○武藤範幸教育部長 ただいまの森山議員のご意見に対してでございますが、地域の方に廃校の跡地をご利用いただけるということは、今後も引き続きということというよりは、跡地利用が決定するまでの間についてはご利用をいただけるということでご理解をいただければと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。

以上でございます。